

NPO 京都コミュニティ放送
第 105 回 番組審議会 議事録

開催日時：2016 年 9 月 27 日（火）10：00～11：30

会 場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：6 人 欠席：1 人

出席委員：山本時子 中村正 岡本卓也 松浦さと子 竹下清 福井秀彦

欠席委員：ジェフ・バーグランド

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 (順不同敬称略)

ゲスト： 京都エスペラント会 光川澄子さん、野田淳子さん

■ 審議番組

「エスペラントって何？」

(毎月第 2, 4 水曜日 13 時 4 分から放送の 6 分番組)

京都エスペラント会のメンバーの皆さんが国際共通語エスペラント語の存在と魅力を多くの皆さんに伝えるための番組。

2016 年 6 月 22 日放送の番組を聞いて審議に入った。

■ 番組審議

冒頭、番組オーナー光川澄子さんから番組趣旨の説明があった。

エスペラントという言葉覚えてもらうための番組。エスペラントの種まきをしている。

千客万来、世界各国のエスペランティスト大歓迎という考え方を知ってほしい。

同じく番組オーナー、野田淳子さんは、1 回目の放送で宮沢賢司の訳本をプレゼントしたら申し込みの電話があったことは嬉しい驚きであった。又、番組ゲストの意外な一面が分かってワクワクしたことなど、報告があった。

審議委員の意見

- ・ 試聴した回は、フィリピンの 18 歳の大学生がゲスト。6 ケ国語を話すことが出来、エスペラント語は自力でマスターしたという男性。毎回、カフェでポイントを話し合っ
て準備している。(野田)
- ・ 初めて番組を聞いた人は、エスペラントが何か分からない。初めての人でも分かる様
毎回言葉を補足した方が良い。一言で構わない。
- ・ 自由と平和のためにルドヴィコ・ザメンホフが作ったという理念を必ず入れるように
しようと思う。(光川)
- ・ 「エスペラントは語学ではなく市民活動である」という話を、エスペラント会のメンバ
ーの女性から聞いたことがある。番組で毎回「わたしにとってのエスペラント」を
聞いたらどうか。
- ・ エスペラントは全ての人が対等。この考えが広まれば人種差別はなくなる。(光川)
- ・ マイナーなイメージがあったが興味がわいた。質問が長い為答えが短くなる気がする
- ・ 貴重な意見。今後工夫しようと思う。(光川)
- ・ 番組の最後にエスペラント会からのお知らせを入れると良い。
- ・ 番組は長く続けたいが、エスペラント会の運営は経済的に厳しい。(光川)

- ・ラジオカフェで番組を放送している団体で、目的別に寄付を募っているグループがある。寄付を募るのも一案かもしれない。
- ・現状では割合としてエスペラント語が多くなっているが、日本語が多いほうが番組としては聞き易いのではないか。
- ・もう少し、メンバーの人柄が感じられるようにすればよいと思う。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は 2016 年 10 月 5 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2016 年 10 月 5 日からホームページで公開した。